

## 2019年度九州史学会大会のご案内

拝啓 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月14日（土）、15日（日）の二日間にわたり、2019年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致しますこととなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようお願い申し上げます。 敬具

## 九州史学会大会次第

於九州大学

12月14日（土） シンポジウム （午後1時30分より）

会場：九州大学伊都キャンパス イーストゾーン大講義室 I

## 「考古学・歴史学における学際融合研究の最前線」

趣旨説明

弥生・古墳時代の物流ネットワークの解明を目指して  
科学の眼で土器をみる ―胎土分析の新展―  
遺跡出土人骨を用いた学際融合研究  
古墳時代親族構造論と古代史研究

九州大学 溝口孝司  
九州大学 田尻義了  
鹿児島大学 石田智子  
九州大学 舟橋京子  
九州大学 岩永省三

懇親会 会場 ビッグスカイ（イーストゾーン食堂）（午後6時より） 会費 3500円（学生1000円）

12月15日（日） 研究発表

## &lt;日本史部会&gt;（イーストゾーンA-117番教室）&lt;午前10時開始&gt;

九州国立博物館所蔵の東大寺文書

九州国立博物館 一瀬 智  
九州大学 森 哲也鎌倉幕府の西国支配における大宰府守護所  
―大宰府守護所発給文書の古文書学的分析を通して―

中央大学 池野 理

宗貞茂の対馬支配と家臣団

九州大学 松尾大輝

柳川一件の歴史像とエピソード

名古屋大学 池内 敏

江戸時代における障害や奇形の原因説

九州大学 クワイラー・グイト・ドミニコ

―近世日本に特有な〈障害〉観の構築性と時代性を探って―

九州大学 角英里華

維新後の旧会津藩

九州大学 太田聡一郎

19世紀日本における平時／戦時区分と軍律

東京大学 渡部 亮

選挙粛正運動と社会大衆党

東京大学 渡部 亮

## &lt;東洋史部会&gt;（イーストゾーンB-102番教室）&lt;午前10時開始&gt;

16世紀中期、広東南澳島における多民族的「海寇」と「倭寇」

九州大学 夏 歆

18世紀の漂流・漂着記に見る海賊と商船武装

九州大学 邢 万里

能海寛の探検ノートを読む ―明治期日本の対中国辺境・チベット認識の一断面―

同志社大学 篠原由華

明治日本の大陸調査黎明期における「外蒙古」の位置づけ

早稲田大学 和田大知

モンゴルの国家財政に関する基礎的考察 ―20世紀初頭の関税収入に着目して―

下関市立大学 橋 永善

前漢前半期における察挙の性格 ―劉邦集団の人格的結合形成の観点から―

鹿児島大学 福永善隆

清代北京の紫禁城消防組織

北九州市立大学 堀地 明

<朝鮮学会> ( イーストゾーンA-118 番教室 ) <午前 10 時開始>

朝鮮時代の内水面魚梁 —慶尚道地域を中心に—  
 朝鮮後期における訳官の使節随行  
 —専門言語外の地域に派遣された訳官に着目して—  
 景德王・恵恭王代の対外政策の総合的再検討  
 『續三綱行實圖』のテキスト比考 —言語学的観点から—  
 壬辰戦争の従軍僧から対馬宗氏の外交僧へ —宿蘆について—  
 近代朝鮮における竹内録之助の出版活動  
 出版社新文館(1908-1922)の刊行物と女性  
 李承晩ライン問題と韓国漁業

九州大学 森平雅彦  
 九州大学 金重鶴美  
 ソウル大学校 新飼早樹子  
 東京大学 澁谷秋  
 九州大学 顧明源  
 九州大学 小野容照佳  
 九州大学 田中美佳  
 日本安全保障戦略研究所 藤井賢二

<イスラム文明学会> ( イーストゾーンA-105 番教室 ) <午前 10 時開始>

ウマイヤ朝末期における軍事行動と歴史叙述  
 —『長史 *Kūāb al-Akhbār al-Ṭiwāl*』におけるウマイヤ朝軍の記述と歴史認識—  
 セルジューク朝のワズィール職再考  
 —ニザーム・アルムルク死後(1092年〜)からイラク・セルジューク朝まで—  
 17世紀マグリブ・アクサー地域北部の山地の駆け落ち騒動  
 —あるいは非都市部におけるカーディーの法廷の働きについて—  
 19世紀前半におけるオスマン帝国の地方統治と地方軍政官人事  
 —テペデレンリ・アリー・パシヤ討伐後のヤンヤ—  
 シンボジウム「イラン式簿記術」とスィヤークの世界

九州大学 北村隼一  
 お茶の水女子大学 後藤敦子  
 東京外国語大学 篠田知暁  
 名古屋学院大学 吉田達矢  
 東京外国語大学 高松洋一  
 東京大学 渡部良子  
 東京外国語大学 近藤信彰  
 お茶の水女子大学 阿部尚史  
 東京大学 大塚修

共催：科学研究費補助金基盤研究(B)「イスラーム圏における簿記史料の通時的・共時的研究」  
 趣旨説明  
 史料としてのペルシア語簿記術指南書  
 —13-14世紀指南書に見るイルハン朝の宮廷財政—  
 イラン式簿記術 —サファヴィー朝期の応用例—  
 財産目録・帳簿史料に見る家産の維持・存続  
 —19世紀後半におけるイラン有力者家族の実践—  
 ペルシア語文化圏における普遍史の変貌と簿記術

<西洋史部会> ( イーストゾーンB-101 番教室 ) <午前 10 時開始>

ナチ強制収容所における「連帯」と「反ファシズム」  
 —ブーヘンヴァルトの「赤いカポ」と戦後の語りをめぐる—  
 ナチ占領下フランスにおけるナショナリズムと対独軍事協力  
 —義勇軍組織「三色旗団」を中心に—  
 「68年運動」以後のドイツ社会民主党青年組織ユーゾー —その地方政治での可能性—  
 中世後期カンディアにおける外国人商人  
 19世紀後半における中央ユーラシアへのインド茶の流通  
 アメリカ南部の反植民地主義感情と日本占領

九州大学 平田哲也  
 九州大学 坂本隼人  
 東京大学 川崎聡史  
 広島大学 西本祐紀  
 大阪大学 山内瑞貴  
 森田英之

<考古学会> ( イーストゾーンB-112 番教室 ) <午前 10 時開始>

アムール中流域(松花江河口域)における新石器時代の文化動態  
 —ロシア極東ユダヤ自治州における発掘調査成果にもとづいて—

前1千年紀のモンゴリアにみられる青銅器製作技法の変化について  
 九州縄文時代後期における注口土器の出現と展開  
 土器の形態測定学的研究 —北部九州弥生前期土器を対象として—  
 出現期における陶器産須恵器と地方窯産須恵器との関係  
 地下式横穴墓群における造墓と空間構成原理  
 福岡県五郎山古墳の横穴式石室に関する諸問題  
 MSMsにあらわれる江戸時代の身分階層制  
 明治初期の博物館における「埋蔵物」の収集  
 —人骨の取扱に関する「博物館」と教育博物館との比較を通じて—

東京大学 福田正宏  
 ハバロフスク地方郷土誌博物館 M.ガブリルチュク  
 東京大学 國木田大  
 ハバロフスク地方郷土誌博物館 M.ゴルシユコフ  
 東京大学 張恩恵  
 九州大学 松本圭太  
 九州大学 福永将大  
 九州大学 ジェームズ・ロフトス  
 愛媛大学 三吉秀充  
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 吉村和昭  
 九州大学 辻田淳一郎  
 九州大学 米元史織  
 九州大学 高久彩

当日は、受付にて、参加費 1500 円(二日間)をお支払い下さい。(学部生は無料です)  
 ※初日のみ、二日目のみのご参加の場合も参加費をいただきます。  
 ※会場周辺には飲食店等が少ないので、二日目の昼食につきましては、各自ご持参いただきますようお願いいたします。  
 なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。  
 〒819-0395 福岡市西区元岡744 イースト1号館 九州大学文学部九州史学会事務局(朝鮮史学研究室) 電話092-802-5096  
 E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~shigakkai/